

令和元年度第2回岩手県公共事業評価専門委員会

現地調査資料

■ 日 時

令和元年7月8日（月） 9：35～17：45

■ 内 容

令和元年度公共事業再評価対象事業に係る現地調査

■ 調査開始予定時刻及び調査対象事業

調査開始時刻	現地調査対象事業
11：05	(1) 都市計画道路整備事業（都市計画道路荒瀬上田面線 二戸市）
15：30	(2) 地域連携道路整備事業（一般県道大川松草線 岩泉町）

■ 資料一覧

資料 No. 1 現地調査行程表

資料 No. 2 現地調査箇所位置図

資料 No. 3 計画平面図等

参考資料

令和元年度第1回公共事業評価専門委員会の審議概要

岩手県公共事業評価専門委員会委員名簿(五十音順)

氏 名	職	専門分野	備 考
石 川 奈 緒	岩手大学理工学部 准教授	土木環境	(欠席)
泉 桂 子	岩手県立大学総合政策学部 准教授	森林経理学 地域活性化論 現代農村社会論	副専門委員長
小笠原 敏 記	岩手大学理工学部 准教授	海岸工学	
清 水 真 弘	堤研一事務所 公認会計士・税理士	企業会計	
平 井 寛	山梨大学生命環境学部 准教授	地域計画	(欠席)
山 本 清 仁	岩手大学農学部 准教授	施設機能工学	専門委員長

(敬称略)

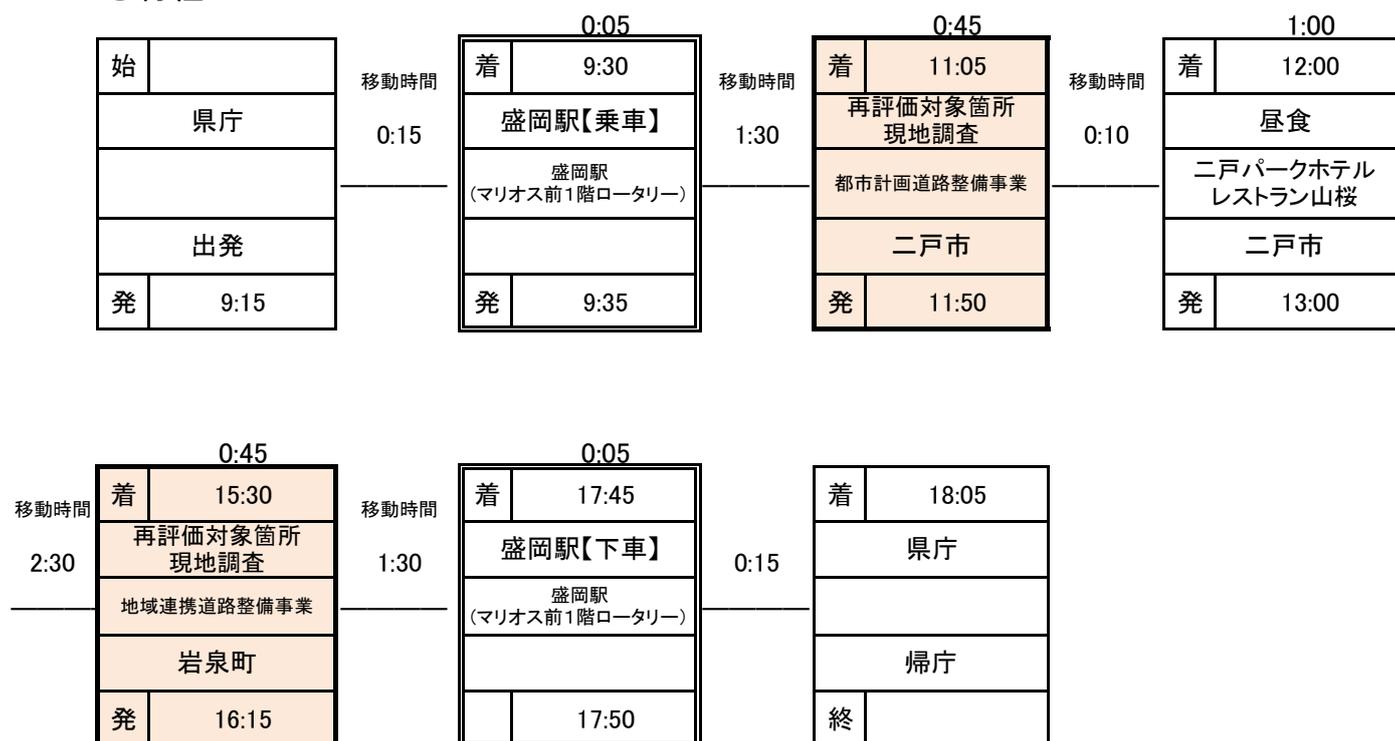
令和元年度公共事業再評価専門委員会 現地調査行程表

○開催日：令和元年7月8日（月） 9:35～17:45

○対象案件

- ・都市計画道路整備事業(都市計画道路荒瀬上田面線 二戸市)
- ・地域連携道路整備事業(一般県道大川松草線 岩泉町)

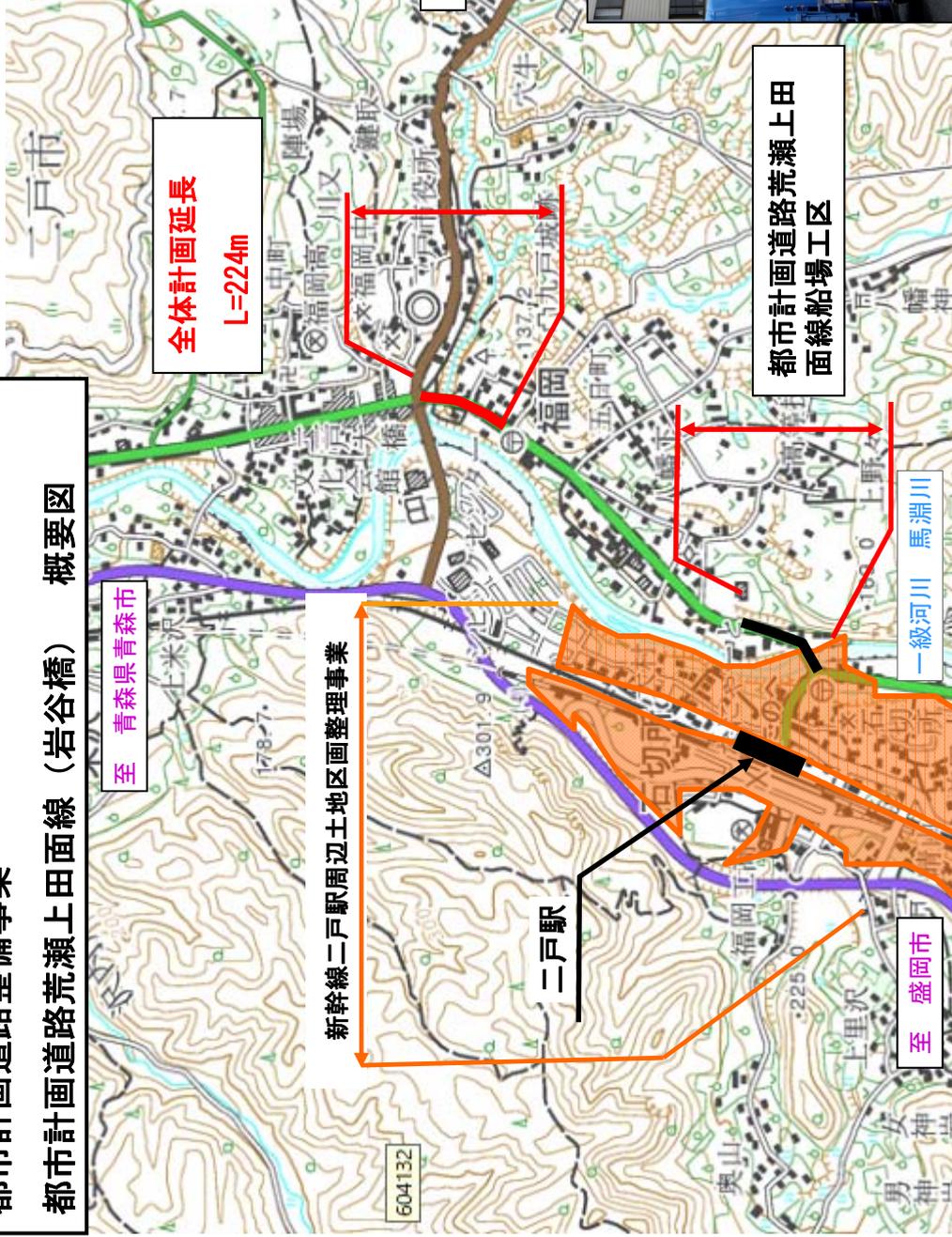
○行程



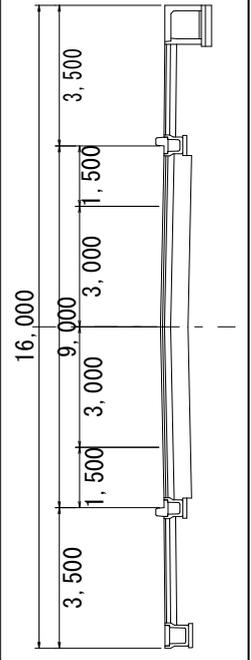
◎時間は現時点での目安であり、交通状況等により変更になる場合があります。

都市計画道路整備事業

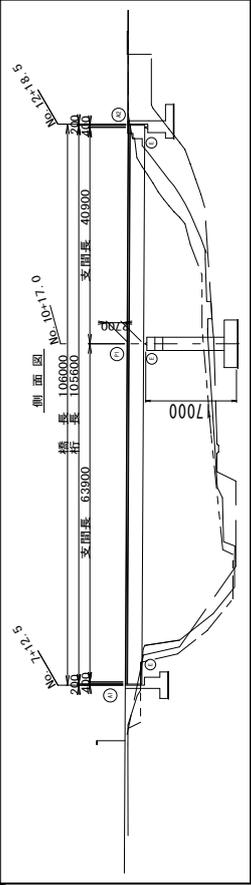
都市計画道路荒瀬上田面線 (岩谷橋) 概要図



標準断面図



橋梁側面図



位置図



至 久慈市

【整備前の状況】(H21.9撮影)



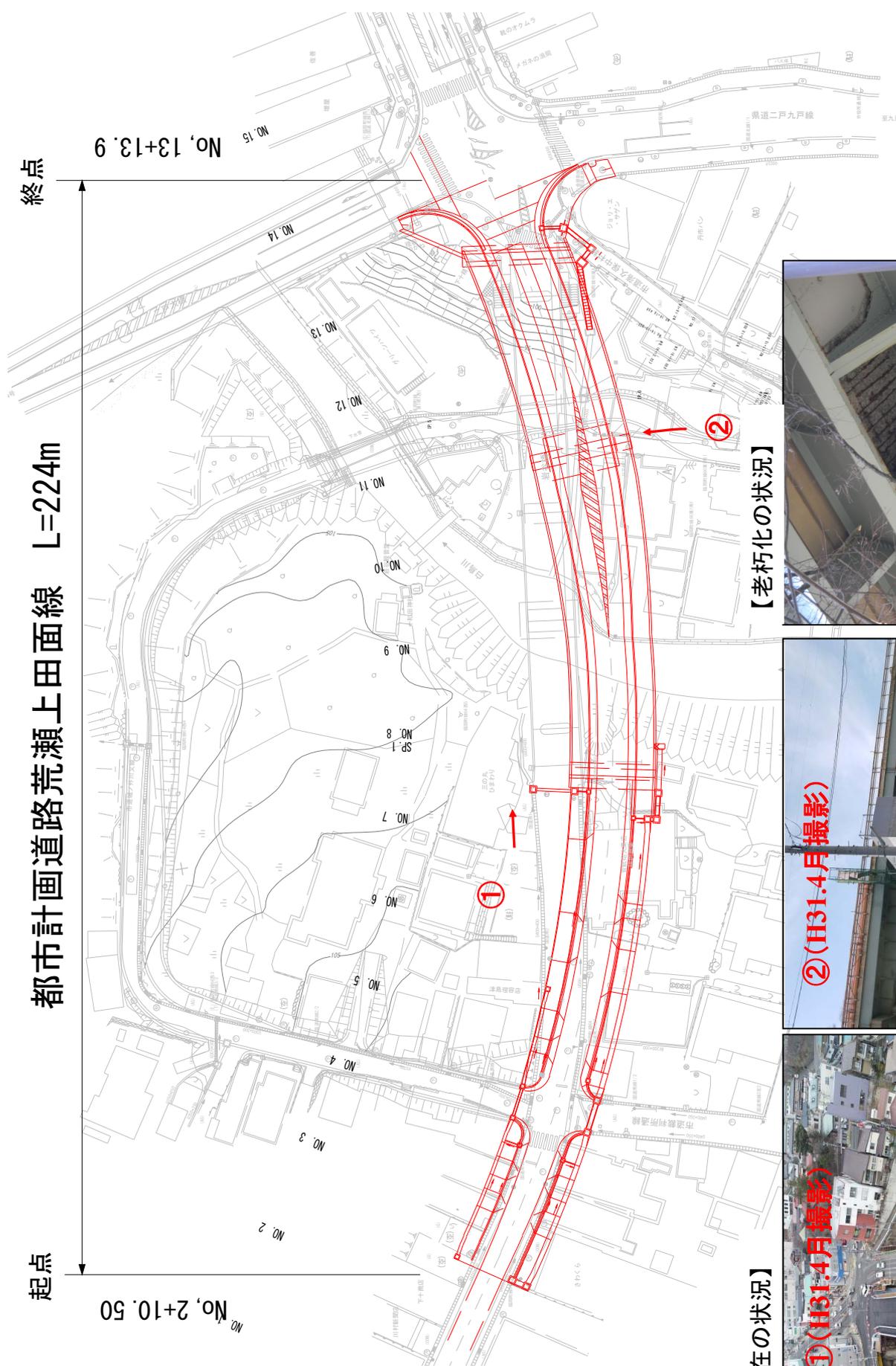
終点

都市計画道路荒瀬上田面線 L=224m

起点

No. 13+13.9

No. 2+10.50



【老朽化の状況】



② (H31.4月撮影)

【現在の状況】



① (H31.4月撮影)

第 1 回公共事業評価専門委員会の審議概要

1 林道整備事業（森林管理道鷹ノ巣・鰻沢線 葛巻町）

質疑等の概要	
専門委員からの質疑等	事業担当課の対応（回答）
① 台風第 10 号災害の影響による入札不調等で計画期間が当初より延びているとのことであるが、入札に係る現状や今後の見込みはどうなっているか。	昨年度は応札がなかった。台風第 10 号災害による入札への影響はまだあるが、来年度以降改善見込みである。
② 林業生産便益と災害等縮減便益が事業着手時より増えているのはなぜか。	林業生産便益の増加については、時間経過により事業着手時よりも整備する森林の蓄積等が増えたことによるもの。災害等縮減便益の増加については、主に算定因子となる防火帯の設置費用等が上昇したことによるものである。
③ 計画期間が長引くことによって、事業費への影響はどの程度あるのか。	事業着手時からの事業費の増額は開設単価の増額によるものが大きい。今後計画が長引いた場合、管理経費が増えることは予想されるが、開設単価の変化については、社会情勢に応じた労務単価や資材単価の増によるため、見込みを立てるのが難しい。

2 地域連携道路整備事業(地域密着型)（一般県道大川松草線 岩泉町）

質疑等の概要	
専門委員からの質疑等	事業担当課等の対応（回答）
① 事業費増額の内訳について、物価上昇等に係る増額と消費税増税に係る増額を分けて教えてほしい。	物価上昇等による増額は約 3 億円、消費税増税による増額は約 5000 万円である。
② <ul style="list-style-type: none"> ・ 付近に小学校があるが、今回の工事区間に歩道はあるのか。 ・ 子ども達が利用する通学路でもあるため、歩行空間については車が侵入しにくいような何らかの工夫をしていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道は計画に含まれていない。スペースの制約上、路肩を広くし、歩行空間を創出する設計としている。 ・ 地域の方々と協議しながら、箇所によってはサイドラインの外側をカラー舗装とするなどしている。引き続き地域の方々の声を聞きながら事業を進めて参りたい。
③ <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境改善便益とはどういったものか。 ・ マイナスが増えていることについてはどう考えればよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大気汚染や騒音、温暖化に対して道路整備をすることによる効果を表すものである。 ・ 当事業で道路整備を行うことにより、走行速度が増し、それに伴う騒音量が高まってしまうというイメージである。

3 通常砂防事業（二級河川普代川水系 普代村）

質疑等の概要	
専門委員からの質疑等	事業担当課の対応（回答）
① 計画期間どおりに事業を完了させる上で、懸念となる事項はあるか。	用地の契約に至っていない箇所があるが、事業に対しては協力いただける方向で進んでいるため、計画どおりに進む見込みである。
② 代替地にすることによって、コストや計画期間、本来の目的である土砂災害に対する効果への影響はどの程度あるか。	コストや計画期間への影響は軽微なものと考えている。土砂災害に対する効果への影響もないと判断している。
③ 計画どおりに事業を進めるために、用地交渉はどれくらいの期間を想定しているか。	登記完了まで1年から1年半程度を想定している。

4 総合流域防災事業（地すべり）（一級河川北上川水系 八幡平市）

質疑等の概要	
専門委員からの質疑等	事業担当課等の対応（回答）
① <ul style="list-style-type: none"> 集水井は維持管理費がかかるということだが、抑止杭工の場合はかからないのか。 杭工を新たに作るよりも、集水井を維持管理する方が費用を抑えられるという判断か。 	<ul style="list-style-type: none"> かからない。効果の発現状況を見て、新たに杭工を作る必要が生じた場合は、維持管理費ではなく建設費に計上される。 そのとおりである。
② 維持管理費は再評価時から計上されているが、当初から見込めなかったか。	当該箇所の集水井は維持管理が必要なものであるため、当初から見込むべきものであった。今後同様の箇所があれば、着手時から維持管理費を見込んでいく。

5 都市計画道路整備事業（都市計画道路荒瀬上田面線 二戸市）

質疑等の概要	
専門委員からの質疑等	事業担当課等の対応（回答）
① <ul style="list-style-type: none"> 仮設橋は詳細設計後に構造を変更し工事費が増額となったということだが、本体の橋を設計する時点で、仮設橋についてもある程度の想定はできなかったか。 本体の橋の設計は変更がなかったか。 仮設橋の部分の地盤が局所的に異なっていたということか。 	<ul style="list-style-type: none"> 予備設計の段階では、近接する既設の橋の資料を活用した。 本体の橋については、当初の設計どおりである。 そのとおりである。
② 交通事故減少便益がゼロになるのはなぜか。	算定因子に「交差点の数」があるが、今回の事業によって交差点の数が変わらないためである。